



Executive Interview

エグゼクティブ
インタビュー

no.5

このコーナーは神奈川トヨタのお客様である経営者の方にお話を伺うコーナーです。

株式会社 アート宝飾 代表取締役社長

六川 勝仁 様

文明開化発祥の地・馬車道で、人々に憧れの思いとともに支持されている「アート宝飾」。先代から家業はもちろん、まちづくりという重要な役割も引き継がれています。伝統のある街と店を盛りたて続ける思いを伺いました。

■ 確かな品質と技術でお客様に最適な一品をコンサルティング

——店名にアートと冠し、とても印象的ですが。

当社は先代が1946年（昭和21年）に美術品や骨とう品を扱う個人商店として横浜弁天通りに創業しました。店名にアートをつけたのは、その当時から先代がなにより美術品や骨とう品が好きだったということ。加えて、アートはア行で、企業名としては一番先にくるだろうということ、電話帳にも一番最初に載ってお客様に目が付きやすいですからね。電話帳は昔重要な宣伝ツールで、そういうことも先代は考えていたようです。また店名の書体はアンティークな書体にこだわりました。

先代は語学に長けていまして、英語もドイツ語もギリシャ語も話せました。米軍の通訳もやっていたこともあったと聞いて

います。創業当時は外国人に向け真珠・貴金属販売を行っていました。ギリシャの海運王と呼ばれたアリストテレス・オナシスさんにも真珠を売ったということもあるんです。

当社は扱っている宝石の種類や品揃えが多いというのが特徴の一つです。一般的な宝石店では30種ほどですが、当社では70種ほど取り揃えています。ダイヤモンドに関しては、ダイヤモンドの原石を買う権利を有する会社をサイトホルダーといい、世界に80社くらいあります。そのサイトホルダーでもトップランクの「DALI DIAMOND（ダリダイヤモンド）」と契約を結び、ダイヤモンドの供給に関してはいかにでも対応できます。

——デザインもオリジナルで作られるんですか？

当社は小売りだけでなく製造も行っており、馬車道に店を構えていますので、

馬車道にちなんで、馬や蹄鉄、ガス灯などをモチーフに「The馬車道コレクション」を作り1989年の横浜博覧会に出展しました。誕生当初は高級品ゾーンの展開でしたが、地金部分をシルバーバージョンにしてよりお求めやすい形でお創りしたことがあります。「CREDIARE（クレディアール）」というプライダルブランドでは、立爪の部分を馬蹄の形をイメージしたエンゲージリングをデザインしました。馬とか馬蹄とかはラッキーアイテムとして、とても人気があります。

また当社では、お客様の相談を受けて





先代から引き継ぐ地元愛と、 確かな技術で人と街に輝きを

お応えするという、宝石のコンサルティングセールスに力を入れています。最近リフォームやリメイクを希望される方が多く、お客様の要望に沿ったご相談に応じています。思い入れのある石を最大限に生かすためアイデアを出し形にしたものを、喜んで身につけていただけるとうれしさは倍増します。

■ 先代から引き継いだまちづくり

—先代が56歳でお亡くなりになり、29歳で後を継がれたということですが、ご苦労も多かったのでは？

先代は馬車道のまちづくりに力を注いでいました。横浜に国際仮装行列という行事がありますが、それを始めるきっかけを作った一人が父だったんです。仮装行列は1953年（昭和28年）から始まってうちの社歴と重なります。そういうこともあり、父がやってきた公的な仕事も引き継ぎをさせていただいて、商工会議所の在籍も長く、仮装行列も20年にわたって企画宣伝委員長を務めています。結構会社以外のいろんなお付き合いが多くて、私のおじいちゃんくらいの方々との交流があります。よく大変だったでしょうと言われるのですが、あっという間に過ぎていった感じです。

—引き続きまちづくりには力を注がれているようですが。

横浜市に都市美対策審議会という会があり、その委員もやっています。1995年から15年かけた2期目の馬車道のまちづくりでは、「本物の大人の街をつくろう」をまちづくりのテーマに、フェイクはやめて、ガス灯を本物に変えてみたり、



赤レンガもタイルではなくて、赤レンガをイギリスから輸入してみたりということをやりました。現在ガス灯は馬車道に60本、山下公園に40本あるんです。去年は馬車道から万国橋通りに18本ガス灯が新設されました。後は海岸通りにガス灯を敷設すると、馬車道から山下公園までガス灯をたどっていく「ガス灯プロムナード」が完成します。横浜にはもっとプロムナードがあってもいいと思っています。馬車道は歴史を重んじ、大人がゆっくり過ごせる街にしたいですね。

横浜・馬車道のまちづくりを通じて、イベントに参加協力してくださる市民や学生さんをはじめ、日本でまちづくりに携わっている著名な先生方との交流ができます。いろんな多岐の情報をいただけて楽しいですよ。

—今後の目標を教えてください。

1946年個人商店として立ち上げ、1953年にアート貿易の設立を経てアート宝飾となり、昨年60年を迎えました。おかげさまでお客様には多くの信頼をいただき、

株式会社 アート宝飾

本社〒231-0014

神奈川県横浜市中区常盤町4丁目45 アートビル8F

TEL : 045-662-3111

URL : <http://www.artjewelry.co.jp>

記念のものはアート宝飾でとっておくお客様も結構いらっしゃると思います。だからこそいい加減なことではできません。まちづくりなど多岐のことをいろいろやりつつ、会社のことももちろんしっかりやらなくてははいけません。時代もどんどん変わっていく中でこれから先を見越して、しっかり組み立てをしていこうと考えています。長男もアメリカから帰ってきたので、アート宝飾として時代に即したブランディングをもう一回やり変えたいなと思っています。

まちづくりについては横浜にはエキゾチックやロマンチックといういいイメージがあります。いいイメージがあるうちに何とかしたいなと思っています。そういう意味で観光というキーワードをもう一回紐説いた方がいいんじゃないかと思っています。アドバルーンはいっぱい上がっているんです。IR^{※1}をどうするのとかLRT^{※2}の導入とか、市庁舎をどうしようか、ドーム球場とかいろいろありますが、それぞれよく検証していくことが必要だと思っています。やることはいっぱいあります。夢があり楽しいことだなと思っています。

※1 IR (Integrated Resort) : カジノを含む統合型リゾート施設

※2 LRT (Light Rail Transit) : 次世代型路面電車システム

<インタビューを終えて>

まちづくりを通じた様々な人との交流から刺激を受け、歴史を尊重しつつ時代に沿ったワールドワイドな発想で、店を含めた地域の発展へのプランを楽しんで考えていらっしゃる姿が印象的でした。宝石にはそれぞれ12色を持っているものがあるとのこと。横浜・馬車道という原石がこれからどんな色に輝いてくのかとても楽しみです。